

# 審議会等の会議結果報告書

課所名

高齢者福祉課

会議名 第1回諏訪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員会

開催日時 令和5年3月10日(金) 13時30分 ~ 15時00分

開催場所 諏訪市役所 502会議室

出席者 (出席者) (敬称略)  
推進委員会  
委員長 松本宙明  
副委員長 宮澤裕子  
委員 藤森和良 矢崎敏江 飯田浩一 今村貴保 沖島太郎 神永記男  
一之瀬文枝 清水俊英 橋本光市 宮坂正義  
副諏訪市長 後藤慎二  
事務局 健康福祉部長 守屋和則  
高齢者福祉課長 徳永理恵 介護保険係長 有賀恵  
高齢者福祉係長 小口隆 同係主査 両角あずさ

資料 第1回諏訪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員会～次第～  
諏訪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員名簿【資料No.1】  
諏訪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画要綱【資料No.2】  
諏訪市の高齢者を取り巻く現状(各種統計データ)【資料No.3】  
諏訪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(令和4年度)実施状況等【資料No.4】

協議議題(内容)及び会議結果  
1 開会  
(徳永課長)  
2 あいさつ  
(後藤副市長)  
3 委嘱状交付  
(後藤副市長より各委員へ)  
4 推進委員会委員長、副委員長選出  
委員長:松本宙明委員 副委員長:宮澤裕子委員  
5 協議事項  
(1)高齢者福祉計画・介護保険事業計画の概要について  
(事務局)  
・諏訪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(令和3年～5年)の位置づけ及び推進委員会の役割

(2)計画の進捗状況について

(事務局)

・資料No.3～4「諏訪市の高齢者を取り巻く現状」「諏訪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画・第8期介護保険事業計画(令和4年度)実施状況報告書」に基づき説明

(3)意見交換

(委員)

薬局にも健康サポート薬局というものがあり、住民向けに健康イベントなど開催している。活動の啓発が課題。

(委員)

包括支援センターと一緒に事業を実施したい。

(委員)

介護職員が不足しており、高齢者を支える人がいない。介護を目指す学生は少なく、外国人を受け入れ、介護職員を増やそうとしている現状。

物価高騰のため、施設経営は不安。

回復期の病院がなく、病院退院後老健に入所されても、すぐ病院に戻るケースがある。病院との連携が必要。施設不足も悩みだが、施設を担う医療体制が必要。

(委員)

独居、認知症の方の在宅支援は難しく、地域の力がないと生活は成り立たない。増えつつある男性介護者へのサポートが必要。

(委員)

認知症の方がなじめるような、認知症に特化したデイサービスが必要。

介護職員、特にヘルパー不足は問題。

高齢者の移動支援、特に透析通院への支援も課題。

(委員)

認知症の方の紛失物を民生委員と協力して捜すこともある。

コロナの影響として、フレイル状態から介護認定につながるケースが多い。

(委員)

雪かきについて、家から道路までの雪かきが大変で依頼先に悩む。

地域の見守りも、緊急連絡先が不明で悩む。支え合う支援、仕組みが必要。

(委員)

地域の公民館で40名ぐらいが集まり、介護予防に取り組んでいる。

(委員)

地域に買い物できる店がなく、社協の車を借りて2回/月スーパーに行くボランティアをしている。交通弱者の支援を考えていきたい。

要援護者のマップが各地区にないため、作製した。

(委員)

老人クラブの活動を活発にしたい。

(委員)

介護を目指す学生は少なくなり、養成校は減少している。

(副委員長)

住み慣れた地域で生活し続けるには、介護保険の支援のみならず、地域の実情に合わせた社会資源、助け合いが必要。包括的な生活支援の充実が課題。

(委員長)

介護保険が始まり、家族からの相談が医療機関に集中することはなくなった。在宅支援を支える家族の負担が軽減されるサービス量が望ましい。委員から「中間の施設がない」という意見があった。その時代に合わせて計画を見直すことが必要。諏訪市が地域包括ケア推進会議で実施した職種の連携を図ることが大切。

タクシー、雪かきに関しては前回の委員会でも課題だった。有償ボランティアの活用、地域の支え合いがより大切になる。計画の進捗に関して、推進委員会で検証していきたい。

(事務局)

すぐできることは令和 5 年度中に達成できるよう、また長期的検討が必要な内容に関しては第 9 期計画策定時にご意見を頂きたい。地域包括ケア推進会議でも課題を見出し、計画策定に活かしたい。

## 6 その他

(事務局)

・令和5年度の推進委員会の予定

## 7 閉会

(守屋部長)